

札幌地域における野菜の入荷量及び卸売価格の見通し

平成26年5月30日
農林水産省生産局農産部園芸作物課
電話 03-3502-8111 (内線 4822)

対象年月：平成26年6月
対象市場：札幌市中央卸売市場

【5月の経過（実績見込み）】

① 入荷の動向

5月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、四国及び九州もの等が出回った。主要野菜の入荷量は、総じて前年並み入荷となった。

「前年をかなり上回った」のは、ほうれんそうの1品目である。

「前年を上回った」のは、にんじん、はくさい、ねぎの3品目である。

「前年をやや上回った」のは、キャベツの1品目である。

「前年並み」は、だいこんの1品目である。

「前年をやや下回った」のは、たまねぎの1品目である。

「前年を下回った」のは、レタス、トマト、ピーマン、ばれいしょの4品目である。

「前年をかなり下回った」のは、きゅうり、なすの2品目である。

「前年を大幅に下回った」のは、さといもの1品目である。

② 価格の動向

このような入荷状況のもとで、5月の野菜価格は、総じて前月平均並みの価格となった。

「前月平均をかなり上回った」のは、ばれいしょの1品目である。

「前月平均を上回った」のは、はくさい、ねぎの2品目である。

「前月平均並み」は、だいこん、ほうれんそう、なす、さといも、たまねぎの5品目である。

「前月平均をやや下回った」のは、キャベツ、トマトの2品目である。

「前月平均を下回った」のは、にんじん、きゅうりの2品目である。

「前月平均をかなり下回った」のは、レタス、ピーマンの2品目である。

【6月の見通し】

① 入荷量の見通し

6月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、近畿及び九州もの等が出回る。野菜の入荷量は、総じて前年並みの入荷が見込まれる。

「前年を上回る」のは、北海道及び長崎県主体のばれいしょの1品目である。

「前年をやや上回る」のは、北海道主体のトマトの1品目である。

「前年並み」は、北海道主体のだいこん、北海道、茨城県及び埼玉県主体のにんじん、北海道主体のはくさい、北海道及び茨城県主体のキャベツ、北海道主体のほうれんそう、北海道及び茨城県主体のねぎ、北海道主体のレタス、北海道主体のきゅうり、茨城県、群馬県及び高知県主体のなす、北海道及び宮崎県主体のピーマン、宮崎県主体のさといも、栃木県及び佐賀県主体のたまねぎの12品目である。

② 価格の見通し

このような入荷状況のもとで、6月の野菜価格は、総じて前月平均並みの価格が見込まれる。

「前月平均を上回る」のは、にんじん、ばれいしょ、さといもの3品目である。

「前月平均をやや上回る」のは、トマト、ピーマンの2品目である。

「前月平均並み」は、きゅうりの1品目である。

「前月平均をやや下回る」のは、キャベツ、レタスの2品目である。

「前月平均を下回る」のは、だいこん、はくさい、ほうれんそう、ねぎ、なす、たまねぎの6品目である。

※ この資料の内容は、5月28日（水）現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

(参考) 入荷量と卸売価格の見込み

	6月の入荷量			6月の卸売価格			6月の主産県
	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	
だいこん	○	=	△	△	○	=	北海道(94.1%)
にんじん	△	=	△	○	△	△	茨城(37.2%)、北海道(20.4%)、埼玉(20.3%)
はくさい	△	=	△	△	△	△	北海道(85.9%)
キャベツ	△	=	△	△	=	○	北海道(67.7%)、茨城(30.8%)
ほうれんそう	=	=	△	△	=	○	北海道(100.0%)
ねぎ	△	=	△	△	△	△	北海道(45.8%)、茨城(41.6%)
レタス	○	=	○	△	○	○	北海道(98.7%)
きゅうり	○	=	△	=	=	○	北海道(77.2%)
なす	△	=	=	△	=	△	高知(43.2%)、茨城(35.9%)、群馬(7.0%)
トマト	○	○	○	○	=	=	北海道(89.2%)
ピーマン	=	=	=	○	△	△	宮崎(42.0%)、北海道(31.4%)
ばれいしょ	○	○	○	○	○	○	北海道(69.3%)、長崎(19.0%)
さといも	○	=	△	○	○	○	宮崎(44.1%)
たまねぎ	△	=	○	△	○	○	佐賀(49.3%)、栃木(11.6%)

入荷量と卸売価格の符号

符号	入荷量	卸売価格
○	多い	高い
=	同じ	横ばい
△	少ない	安い